

ADX60 BOUNDARY CONDENSER MICROPHONE

OVERVIEW

ADX60 は、会議、演劇、劇場、アコースティック楽器などの幅広い用途の集音に対応できるバウンダリー型の高感度プリポラライズド・コンデンサー・マイクロホンです。

配置が非常に簡単で、耐久性があり、高い基準と厳しい公差でされています。

ヘミ・カーディオイド指向性パターンを特徴とし、特定のエリアを捉えるよう設計されています。

50Hz-18kHz の広い周波数帯域です。

9-52 ボルトのファンタム電源が必要です。

25 フィート(7.5m)のケーブルと変換アダプター (APS910) が付属しています。

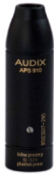
亜鉛合金ダイキャストハウジング、高性能 12mm マイクカプセル、ブラック e-coat 仕上げ、スチールメッシュグリル。mini-XLR コネクター、ダンパー用ラバーベースを装備しています。

付属品

CBL60 miniXLR ケーブル、取り外し可能、25 フィート (7.5m)

APS910 miniXLR-XLR 変換アダプタ

P1 キャリングポーチ



APS910



特長

- ・ 高感度
- ・ 特定エリアを集音するよう設計
- ・ 優れた音響特性
- ・

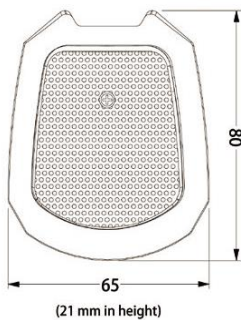
アプリケーション

- ・ 講壇、演台
- ・ 会議、リモート会議
- ・ 録画、録音
- ・ ルームアンビエンス
- ・ 法廷、セレモニー
- ・ ピアノ等

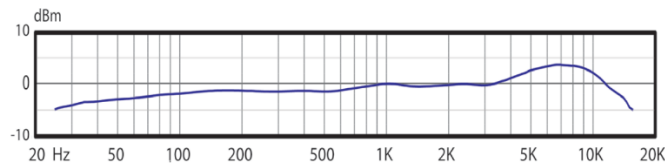
仕様

トランスデューサー	プリポラライズド・コンデンサー型
周波数特性	50 Hz – 18kHz
指向性	カーディオイド
出力インピーダンス	250 ohms 、 バランス
感度	9mV / Pa @ 1k
等価雑音ノイズ	29dB-A
SN 比	65 dB
最大 SPL	130dB
ファンタム電源	9-52 V
コネクタ	mini-XLR (本体)
極性	1 GND 2 ホット 3 コールド
材質、塗装	亜鉛合金ダイキャスト、ブラック
重量	143g
寸法	65mm x 80mm x 21 mm

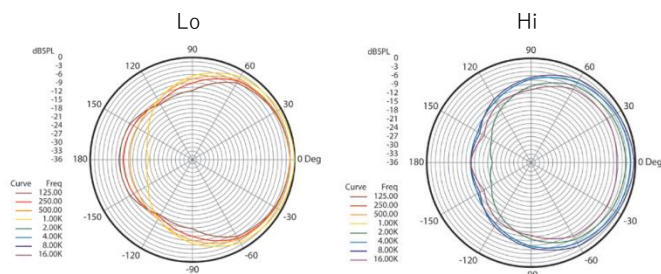
寸法(mm)



周波数特性



指向特性



ARCHITECT AND ENGINEER SPECIFICATIONS

ADX60 のマイクロホンは、モジュラ・スレッド・カプセルで、ヘミ・カーディオイド極性パターンのバックプレート・プリポラライズド・コンデンサーであること。ヘミ・カーディオイドの極性パターンを持つこと。9-52 ボルトのファンタム電源で動作し、ノミナル出力インピーダンスは 1kHz で 250 オームに等しいこと。マイクロホンの感度は、1 kHz で 5 mV / Pa であること。マイクロホンの最大 SPL レベルは 130dB 以上、THD は 0.5% であること。マイクロホンの筐体は、亜鉛合金のダイキャスト製で、幅 70mm、高さ 80mm の寸法であること。

OPERATION AND MAINTENANCE

ミキサー・コンソール・録音機のマイクレベル入力に接続してください。XLR 入力に接続する場合は付属の変換アダプタ (APS910) を使用してください。

動作にはファンタム電源が必要です。ファンタム電源が利用できない場合は別途 Audix APS2 等の外部ファンタム電源をお使いください。

チャンネルがミュートされているかシステムのボリュームが下げられていない限り、PA システムからマイクを抜き差しすることは避けてください。これを行わないと、大きな「ポッピング」ノイズが発生し、PA システムのスピーカーに深刻なダメージを与える可能性があります。

USER TIPS

ADX60 は、ピックアップパターンが設置面に対して相対的 (並行) になるように設計されたバウンダリーマイクロホンです。これにより、壁、床、天井、パネルなどへのクリエイティブなマイク配置が可能になります。

舞台上に置いて舞台上の音を集音したり、ピアノの蓋の内側に貼るように設置して音を取り込んだりすることも可能です。

マイクの正面 ("Audix" のロゴがある側) は、常に音源に向いている必要があります。

さまざまなマイクの配置を試して、最適な結果を得ることができます。会議室の場合は 90-120cm 程度間隔を置いて複数のマイクを配置します。

ステージ集音の場合はステージの端から 30-60cm 離れたところに設置します。7.5m 以上の幅のステージでは 1.5m 間隔で配置します。小さなステージの場合は 2 本のマイクを 3-4.5m ほどの間隔を開けて配置します。

